

アシスト

市川市サッカー協会第4種委員会 委員長 石原孝幸

新年 あけまして おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年は、新年恒例の「市川市招待 U11 サッカー大会」が1月4日5日に、また「Shapo 市川カップ 6年生の部」が6日から8日と、暦の関係で連続しての開催となりました。正月明けの4日から5日間連続で関わっていただいた方も多かったのではと思います。子ども達のためにご尽力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。

「市川招待」は、昨年度から、市川南ロータリークラブのご厚意により、一昨年10月に亡くなられた故佐藤菊弥先生のお名前を冠した優勝カップを用意していただき、「市川南ロータリークラブ PRESENTS 佐藤菊弥杯」として新たにスタートしました。今年で37回目の開催となりましたが、第1回からこの大会を作り上げた故佐藤菊弥先生のご功績に相応しい大会名となり、大変有難く、市川南ロータリークラブの皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、市川FCは1日目の試合会場が塩焼小と稲越小の、市内の南北に分かれることから、選手の自宅を参考に、ほぼ南北になるようにAB2チームに分けて参加しました。

1日目の予選リーグは両チームとも3戦全勝で1位通過し、2日目の1位リーグⅠでは、Aチームは2勝1分で1位通過し決勝に進出しましたが、1位リーグⅡではBチームは1勝1敗1分けの2位となり決勝には進めませんでした。

1位リーグⅠの1位、市川FCAチームの決勝戦の相手は、1位リーグⅡの1位、江南南サッカー少年団です。江南南サッカー少年団は、あの原口元気選手を排出した埼玉県の強豪チームです。子ども達は戦う姿勢を前面に出し、全力で試合に臨みましたが、結果は0-3と不本意な敗戦でした。

セレクションを経て昨年の10月から本格的に始動し、まだ3月間のトレーニング期間です。全体としては、総合2位と3位ということで、市川を代表するチームとしての結果を残しつつ、これからの伸びしろの多さを感じることができたのが何よりと思います。「**チームとして活動しつつ、選手個々を育てる**」というコンセプトで、今回の大会で明らかになった良さをさらに伸ばし、身に付けるべきことはさらに身に付け、より良いサッカー選手に育てるべく、トレーニングを積んでいこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「Shapo市川カップ2024 6年生以下の部」は、それまでの「少年サッカー親善大会」に、シャポー市川・本八幡がメインスポンサーになって下さり今年で12年目となります。決勝戦はジェフユナイティッド市原・千葉のホームスタジアム「フクダ電子アリーナ」で、しかも、ジェフユナイティッド市原・千葉のJリーグ開幕戦の前座ゲームとして行われます。

今年勝ち残ったのは、南市川JFCブルーとフォルマーレ。2月下旬の開催ですがまだ未定とのことです。(1月11日時点)あと一か月と少し。2チームとも当日に備え、さらにサッカーに磨きをかけ、**小学校最後のゲームを楽しんで**欲しいと思います。